令和6年 7月19日（金曜日）

○議事日程

令和6年7月19日（金）午前10時00分開議

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 会期決定の件

日程第 3 議案第27号 令和6年度東庄町一般会計補正予算（第2号）

○本日の会議に付した案件

議事日程のとおり

○出席議員（14名）

1 番 海 宝 和 宏 君
2 番 渡 邊 幸 江 君
3 番 前 田 君 江 君
4 番 岩 井 弘 晃 君
5 番 越 川 良 男 君
6 番 柳 堀 忠 君
7 番 桜 井 莊 一 君
8 番 宮 澤 健 君
9 番 大 網 正 敏 君
10 番 佐久間 義 房 君
11 番 高 木 武 男 君
12 番 鈴 木 正 昭 君
13 番 山 崎 ひろみ 君
14 番 板 寺 正 範 君

○欠席議員

な し

○出席説明員（6名）

町 長 岩 田 利 雄 君
副 町 長 向 後 喜一朗 君
総 務 課 長 堀 江 弘 之 君
企画財政担当課長 加 瀬 博 子 君

町 民 課 長 香 取 康 成 君
健 康 福 祉 課 長 布 施 光 規 君
教 育 長 石 橋 宏 克 君

○出席事務局員（3名）

事 務 局 長 伊 藤 雅 晃
次 長 向 後 順 子
副 主 査 白 石 直 人

(午前10時00分 開会)

議長（板寺正範君）

おはようございます。ただいまの出席議員は全員です。

ただいまから、令和6年東庄町議会第1回臨時会を開会します。

これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第125条の規定によって、9番 大網正敏君、5番 越川良男君、兩名を指名します。

日程第2、会議決定の件を議題とします。

本臨時会の会期は、本日一日限りとするに議会運営委員会において、意見の一致を見ております。

お諮りします。

本臨時会の会期は、本日一日限りとすることにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長（板寺正範君）

ご異議なしと認めます。

従って、本臨時会の会期は、本日一日限りに決定しました。

日程第3、議案第27号、令和6年度東庄町一般会計補正予算（第2号）を議題とします。

職員に議案の朗読をさせます。

(事務局朗読)

議長（板寺正範君）

本案について、提案理由の説明を求めます。

町長、岩田利雄君。

町長（岩田利雄君）

それでは、議案第27号、令和6年度東庄町一般会計補正予算（第2号）の提案理由を申し上げます。

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6,653万8,000円を追加をし、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ、66億8,222万5,000円

とするものでございます。

歳出の補正内容でございますが、まず総務関係ではドローンを生かした町おこしとしまして、地域課題の解決のため、ドローンパイロットの育成事業及び物流ドローンの実証実験事業について、新規で予算計上しております。

次に民生関係では、先の6月定例会で予算計上いたしました定額減税補足給付金事業と価格高騰支援給付事業につきまして、国提供の試算方法により給付額を算出しておりましたが、令和6年度の住民税が確定をいたしましたことにより、改めて試算したところ不足額が生じたので、追加補正をしております。

歳入につきましては、過疎地域持続的発展支援事業交付金と物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金について補正を行い、歳出予算の総額について国の交付金を充当しております。

以上、令和6年度東庄町一般会計補正予算（第2号）について、提案理由を申し上げます。詳細につきましては担当課長より説明をいたさせます。ご審議の上、可決くださいますよう、よろしくお願いを申し上げます。

議長（板寺正範君）

企画財政担当課長、加瀬博子君。

企画財政担当課長（加瀬博子君）

それでは、議案第27号、令和6年度東庄町一般会計補正予算（第2号）の内容について、説明させていただきます。

まず歳出予算から申し上げますので、議案書の6ページをお願いいたします。

初めに、2款・総務費、1項5目・企画費の合計1,140万2,000円。こちらは町長からの提案理由にもありましたとおり、ドローンパイロットの育成事業及び物流ドローンの実証試験事業に係る経費となります。

このうち、パイロットの育成事業につきましては、町内に住所を有する住民6名をパイロット候補生として操縦士資格取得に向けて育成するものです。ICT等技術活用の人材育成を目指し、受講者の定住やその他、町への還元などの縛りはありませんが是非ドローンパイロットの技術を生かして就業につながることを期待して事業を行います。

続きまして、物流ドローンの実証試験事業につきましては、過疎地域の物流課題や災害時の物資輸送に対応するため、ドローンによる実証実験を実施するものです。

内訳でございますが、10節・需用費21万円。事業用消耗品及び告知チラシ印刷費等の経費です。

12節・スマート物流実証試験事業委託料650万円。ドローンによる10日間の実証試験費用や試験運行に必要な地形マッピング調査及び実証試験の事業報告書制作などの委託料となります。

同節・ドローン講習委託料180万円。操縦ライセンス取得のための講習委託料となります。

13節・ドローン賃借料277万2,000円。練習生が使用するドローン機体6機分のリース代となります。

同節・会場借上料12万円。講習時以外の練習としてドローン教習所の会場借上料、練習生一人当たり2万円で6名分の費用を見込んでおります。これらの事業の財源につきましては、全額国庫補助金となっております。

次に3款・民生費、1項8目・定額減税補足給付金の合計3,903万6,000円。主なものとして、18節に計上しております。定額減税補足給付金に係る経費となり、6月補正予算で計上した事業を補正するものです。こちらは物価高騰対策として国により実施される一人当たり4万円の定額減税によって、減税がしきれない世帯を対象とし、差額を1万円単位で給付する事業となります。補正理由としましては、6月補正予算では国提供の試算ツールにより給付予定者を3,171人と試算しておりましたが、この度令和6年度の住民税課税情報が確定したことにより、実際の給付対象者を改めて試算したところ4,362人となり、1,191人分の不足が生じたことにより改めて補正するものです。

この事業の財源につきましては、全額国庫補助金となっております。

同項11目・物価高騰対策重点支援給付金。新たに非課税等となる世帯分の18節・合計1,610万円。物価高騰対策として、令和6年度に新たに住民税非課税となる世帯や住民税均等割のみとなる世帯を対象として一世帯当たり10万円を給付する事業となります。こちらも定額減税補足給付金と同様に6月補正予算で計上した事業の補正となるものです。6月補正予算では、国提供の試算ツールにより給付世帯について新規非課税世帯分100世帯、新規均等割のみ課税世帯分30世帯と試算しておりましたが、住民税が確定したことにより実際の給付対象世帯を試算したところ新規非課税世帯分で213世帯、新規均等割のみ課税世帯分で78世帯

となったことから不足する合計161世帯分を補正するものです。この事業の財源につきましても、全額国庫補助金となっております。

次に歳入について申し上げます。5ページをお願いいたします。

15款・国庫支出金、2項1目4節・物価高騰対応重点支援地方創生臨時給付金5,513万6,000円は歳出補正の民生費で申しあげました給付金関連事業に対する交付金となります。

同目5節・過疎地域持続的発展支援事業交付金1,140万2,000円は歳出補正の総務費で申しあげましたドローンを活用した事業に対する交付金となります。

以上で、令和6年度東庄町一般会計補正予算（第2号）の説明を終わらせていただきます。よろしくご審議のほどお願いいたします。

議長（板寺正範君）

提案理由の説明が終わりましたので、これから質疑を行います。

6番、柳堀忠君。

6番（柳堀忠君）

ご説明ありがとうございました。歳出の件でお伺いさせていただきます。

総務費・12節・委託料、スマート物流実証試験事業委託料の中のこの物流実証試験というのはどのような内容をもって実施されるのか、そしてまた期間が10日間とおっしゃったような感じがします。この後はどのように本事業に向けて進める、またはそのスケジュールが出来ているのかお伺いしたいと思います。よろしく願いいたします。

議長（板寺正範君）

答弁を求めます。

企画財政担当課長、加瀬博子君。

企画財政担当課長（加瀬博子君）

ただいまご質問のありました、まず物流ドローンの実証実験についてでございますが、局所災害を想定した支援物質の運搬やフードデリバリーや買物代行などを想定した実証実験を行うこととしております。今後の予定につきましては、実証実験後、本格運用に適正するかどうかを十分見極めながら実現可能な物流網のスキームを構築したいと考えております。来年度以降につきましても、まだ実証実験前ですので計画等はございません。今年度3月までの国の補助事業でありますので、3月ま

での予定ということで考えております。以上です。

議長（板寺正範君）

よろしいですか。ほかにありませんか。

7番、桜井荘一君。

7番（桜井荘一君）

パイロット育成6名となっていますけれども、どのように人選して、また年齢制限とかありますでしょうか。

議長（板寺正範君）

答弁を求めます。

企画財政担当課長、加瀬博子君。

企画財政担当課長（加瀬博子君）

ただいまご質問のありました、まず6名の人選からでございますが、この補正予算が通りました後、町のホームページ、そして町の広報誌等で町内に募集をかけます。その際、個別に説明会等を開催しまして、まずこのパイロットに適しているかどうか、また面接等も行いながら人選をしていくこととしております。それと年齢であります、16歳からこの国家試験が受験できますので16歳から募集をし、40歳までを考えております。以上です。

議長（板寺正範君）

よろしいですか。ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（板寺正範君）

質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

お諮りします。

討論を省略して直ちに採決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（板寺正範君）

ご異議なしと認めます。

これから議案第27号、令和6年度東庄町一般会計補正予算（第2号）を採決します。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長（板寺正範君）

ご異議なしと認めます。

従って、議案第27号は原案のとおり可決されました。

以上で本日の日程は全部終了しました。

閉会に先立ち、町長よりご挨拶をお願いします。

町長、岩田利雄君。

町長（岩田利雄君）

それでは、東庄町議会令和6年第1回臨時会の閉会に当たりましてご挨拶を申し上げます。

本臨時会には執行部より、議案一件を上程をさせていただき、原案のとおり可決をいただきました。誠にありがとうございました。

計画された事業をしっかりと実施し、町民福祉の向上に努めてまいります。

7月に入り、前半は夏の猛烈な日差しを感じさせる好天の日が続き、7月一週目に全国で熱中症により、救急搬送された人の数は前の週と比較して約4倍以上、昨年の同時期と比較しても2倍となっているそうであります。

気象庁では4月24日より熱中症特別警戒アラートの運用を開始をしております。それに伴い、町でもアラートが発生された際には、開放するクーリングシェルターとして役場町民ホールなど町内の三ヶ所の施設を指定しております。高齢者や子供など熱中症弱者の命を守る対応をしてみたいと考えております。

まだまだ暑い日が続きます。議員各位におかれましても健康に留意をされ、益々のご活躍をご祈念を申し上げるとともに、今後ともよろしくご指導、ご支援を賜りますようお願いを申し上げまして、挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

議長（板寺正範君）

私からも一言ご挨拶を申し上げます。

先程、議会運営委員会の中でも少し触れさせていただきましたが、昨日埼玉県のとしがわ町さんの行政視察で総務産業建設常任委員会の皆様がおいでになりました。町長に歓迎のご挨拶をいただき、企画財政担当課とまちづくり課で説明、質疑応答

をしていただきました。議長さんは38歳という若い議長さん、そして委員の中では一番高齢の方が81歳ということでありましたが、質疑の時間かなりの時間でありますけれども、皆さんが一つ一つその町の人口減少、少子高齢化についての課題について真摯に質問されていたなというふうにすごく感じました。東庄町議会においても、これから総務産業常任委員会、あるいは文教福祉常任委員会、あるいは議会研修と研修がこれから続いていきますけれども、研修に行っても何も質問しないというのもしかたどうかなと思いますので、研修先のことを皆さん自分なりにいろいろ勉強していただいて、その研修会が実りあるものにしていただければなというふうに考えております。

これから、週明けまたこれより暑いという予報も出ていますので、ご健康に留意しながら議員活動に努めていただきたいなというふうに思います。本日はご苦労さまでした。

以上で、令和6年東庄町議会第1回臨時会を閉会いたします。ご苦労さまでした。

(午前10時21分 閉会)